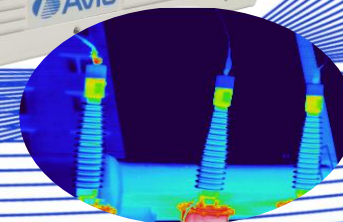
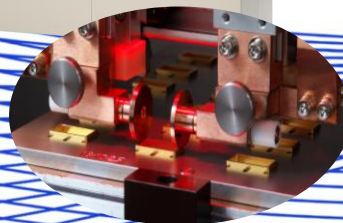


# 日本アビオニクス株式会社



## 第76期定時株主総会 (開会)



2026年6月19日

議決権保有株主様 6,946名

---

議 決 権 数 147,255個

---

基 準 日 2026年3月31日

---

お手元の招集ご通知  
「23～28頁」を  
ご覧ください

## 報告事項 P.5～

1. 第76期事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査法人および監査等委員会の監査結果報告の件

### 当社グループの現況に関する事項

- 決算ハイライト
- セグメント別状況
  - ①情報システム事業状況/概要
  - ②電子機器事業状況/概要
- 連結貸借対照表の概要
- 対処すべき課題
  - ・経営理念と方針
  - ・株主還元方針
  - ・中期経営計画

2. 第76期計算書類の内容報告の件

## 決議事項 P.37～

1. 剰余金処分の件
2. 取締役（監査等委員である取締役を除く。）4名選任の件
3. 監査等委員である取締役3名選任の件

1. 第76期（2025年4月1日～2026年3月31日）  
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに  
会計監査人および監査等委員会の連結計算書類  
監査結果報告の件
2. 第76期（2025年4月1日～2026年3月31日）  
計算書類の内容報告の件



# 報告事項 1

事業報告の内容、連結計算書類の内容  
(当社グループの現況に関する事項)

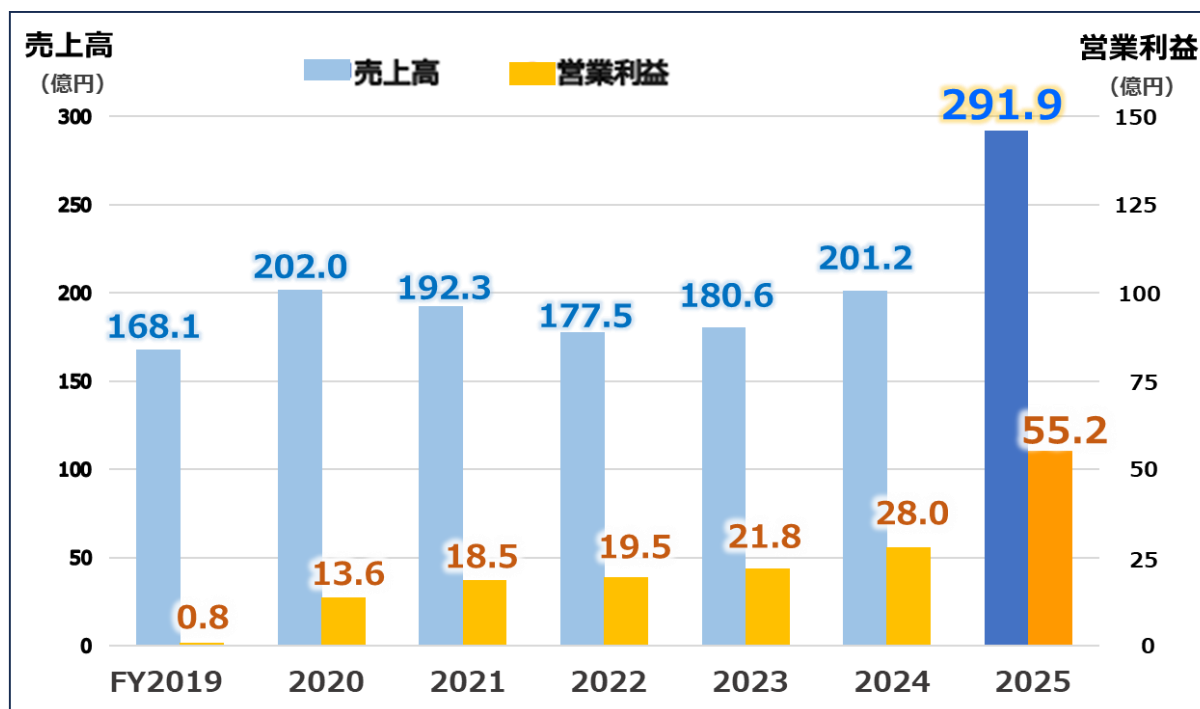
## 2019年度以降、営業利益7期連続増益 営業利益、経常利益、当期純利益は上場来最高値

### 2025年度決算

(億円)

	2024年度	2025年度	増減額
売上高	201.2	291.9	+90.7
営業利益	28.0	55.2	+27.2
利益率 (%)	13.9	18.9	+5.0
経常利益	27.1	53.6	+26.5
利益率 (%)	13.5	18.4	+4.9
当期純利益	19.6	38.2	+18.6
利益率 (%)	9.8	13.1	+3.3
受注高	274.4	385.6	+111.2
受注残高	217.5	311.2	+93.7

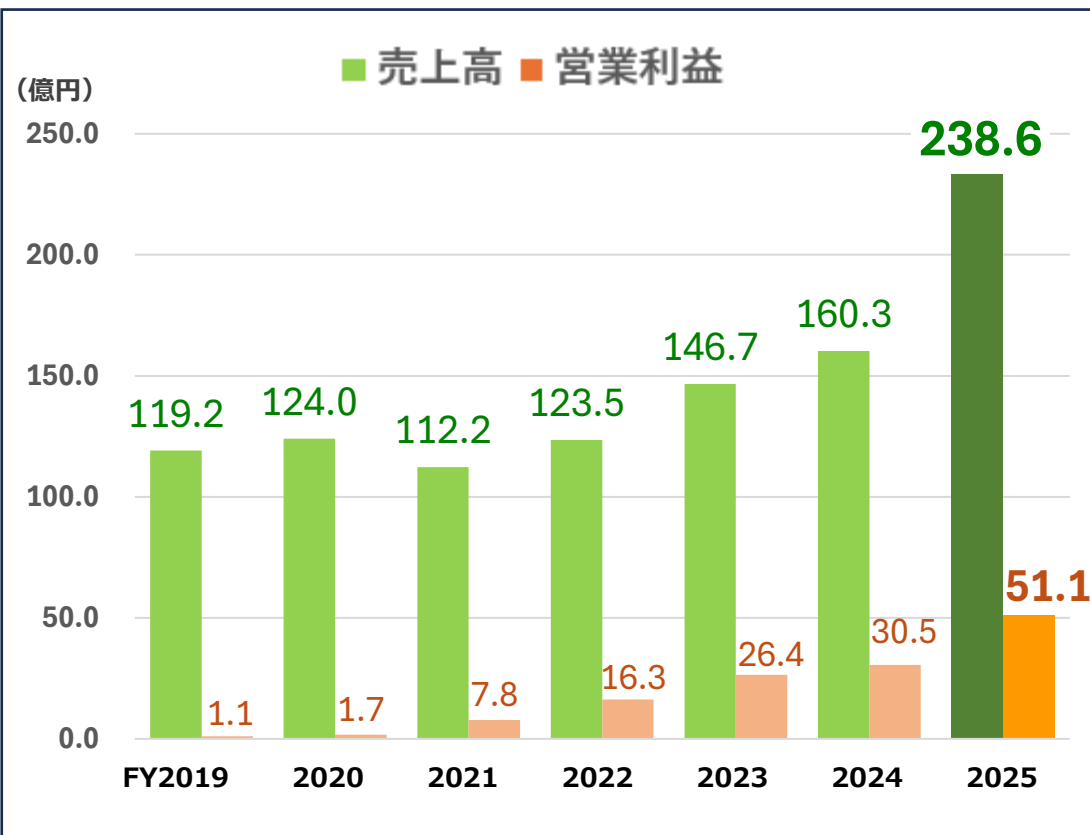
### 業績推移



## 情報システム事業

## 売上高増加、営業利益増加

### 情報システム事業 業績推移



### 事業環境

- 政府の方向性は防衛力整備に注力の姿勢が続き、「防衛力整備計画」の3年目となった2025年度も防衛予算は高い水準を維持。

### 売上高 (78.3億円増)

- 日本の防衛力強化を背景に、防衛力整備計画における得意領域を主軸に提案活動を継続し、受注を拡大。人員増やスペースの確保、生産効率化等の対策で売上高を大幅に増加。

### 営業利益 (20.5億円増)

- 売上高の増加とQCD改善により、営業利益は増加。



## 日本の安全を守る事業を主軸に展開

### 安全・安心な社会の実現

陸上・海上・航空自衛隊へ耐環境性と信頼性の高い防衛装備品を提供  
宇宙、一般産業向けに信頼性の高い製品を提供

#### 事業の強み

- ・自社で開発・製造・販売・保守する国産メーカー
- ・陸・海・空すべての自衛隊に防衛装備品を提供し、各自衛隊に対しての運用ノウハウを保有

ハードウェア、ソフトウェアの開発から保守に至るまで  
ワンストップでサービスを提供

防衛省の調達制度に適応し、防衛省と直接取引可能

大手防衛プライム企業（通信系、重工系）から  
パートナーとして継続受注

#### 一貫体制

開発

製造

検査

納入

維持保守



## 防衛装備品 (防衛用システム搭載電子機器・装置)

### 対空戦闘指揮システム

陸



共通コア技術：通信、表示、制御  
(信号処理、画像処理、表示音響、指揮統制)

主力製品：  
管制装置

### 戦闘指揮システム

海



主力製品：  
情報表示装置

### 自動警戒管制システム

空

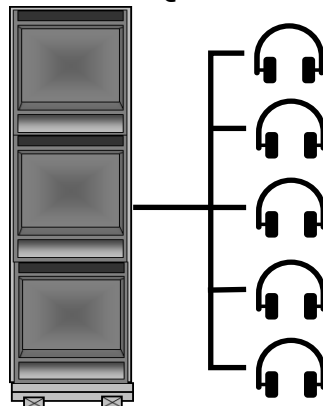


主力製品：  
指揮統制装置

### 防衛省直接納入製品

艦内通信切換制御装置

OTQ-3C



(製品イメージ)

## その他

耐環境性に優れた  
ものづくり



JAXAに認定された  
宇宙用ハイブリッドIC

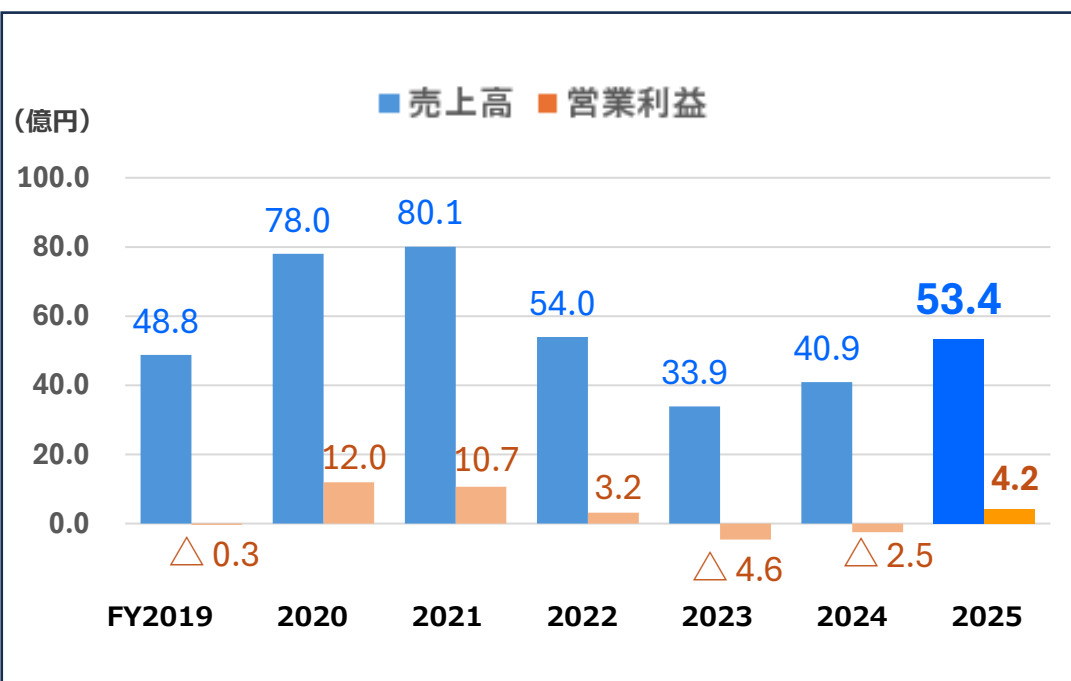


高い信頼性が必要な  
半導体製造装置に  
搭載されている  
電子機器の製造受託

### 電子機器

### 営業利益黒字化

#### 電子機器・セグメント 業績推移



#### 事業環境

- 情報機器市場の回復と、データサーバーの需要増加やバッテリー廃棄に伴う発火事案を背景とした廃棄物等の監視による未然防止への関心の高まりで、設備需要が増加。

#### 売上高 (12.5億円増)

- 設備需要の持ち直しの動きと、電子部品の高機能化をキーワードにターゲット市場へ拡販活動を展開し、前年比で増加。

#### 営業利益 (6.7億円改善)

- 売上高の増加とQCD改善により6.7億円の改善で黒字に回復。

## ②電子機器・セグメント（接合機器事業）



機器の高機能化に対応した  
“つける”ソリューションを主軸に展開



### 安全・安心で豊かな社会の実現

高機能化しているスマートフォンや自動車などの「ものづくり」の現場へ接合機器を提供して  
安全性や利便性の向上に貢献

#### 事業の強み

- ・自社で開発、製造、販売、保守する国産メーカー
- ・世界でも稀な4つの接合工法を保有
- ・60年以上の実績で多彩な接合アプリケーションを保有

接合性に加え、運用ニーズ（強度、初期コスト、ランニングコスト、生産タクト、品質等）を総合的に判断し、接合4工法から最適な工法を提供

接合材料に関するご相談から、実験、解析、自動化までワンストップでサービスを提供

接合工法を融合（例：パルスヒート×超音波）して新たな顧客価値を創出

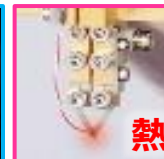
#### 接合4工法

抵抗溶接



電気

パルスヒート



熱

超音波



振動

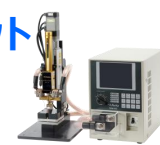
レーザー



光

#### 製品

ユニット

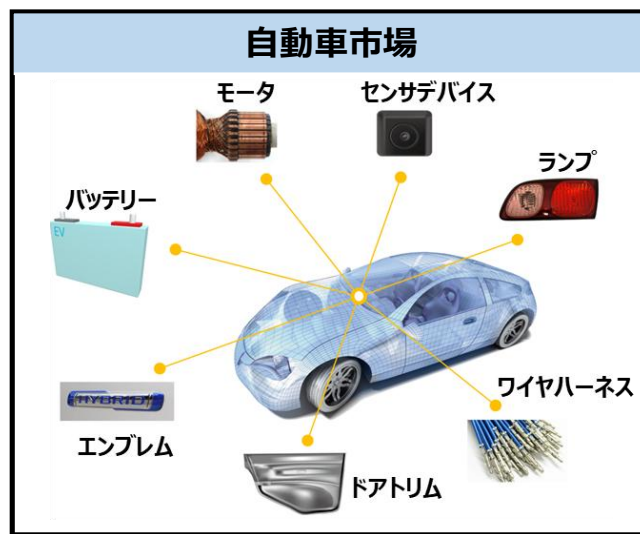
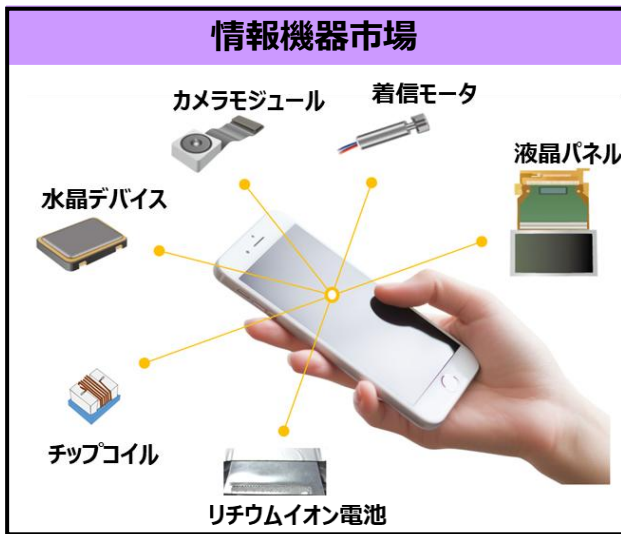


装置





# ②電子機器・セグメント (接合機器事業)



## ②電子機器・セグメント（赤外線センシング事業）



災害の未然防止に役立つ  
赤外線ソリューションを軸に展開



### 安全・安心で豊かな社会の実現

保全設備や電力設備などへ常時監視するシステムを提供して  
事故・災害・故障などの未然防止に貢献

#### 事業の強み

- ・自社で開発・製造・販売・保守する国産メーカー
- ・50年以上の市場実績で多彩なアプリケーションを保有

アプリケーション（発火監視、設備保全、セキュリティ等）  
毎に、最適なソリューションを提供

波長を変更した特殊計測（ガラス越し、炎越し、金属の  
温度）で通常では不可能な計測を実現

国内唯一\*となる医療機器認定のポータブル型サーモ  
グラフィを開発・販売 \*2026年5月当社調べ

#### 製品

##### システム 設置型サーモグラフィ



##### 機器



ハンディタイプ



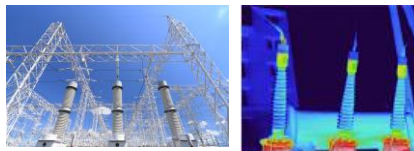
特殊タイプ



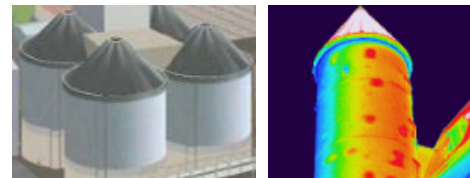
医用サーモ

## ② 電子機器・セグメント (赤外線センシング事業)

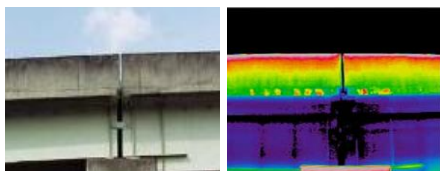
- ◆ 変電設備ICT化
- ◆ 原子力・火力・バイオマス 発電防災監視



- ◆ サイロ監視
- ◆ 加熱炉監視



- ◆ 橋梁点検



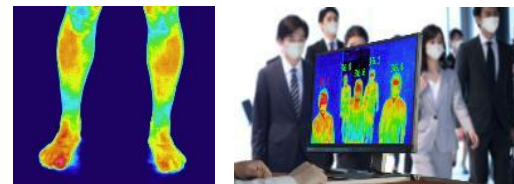
- ◆ 港湾監視 (不審船)
- ◆ 侵入監視



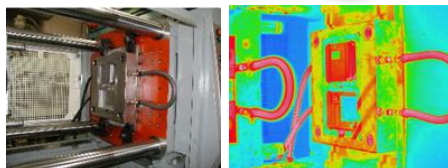
- ◆ ごみピッド監視



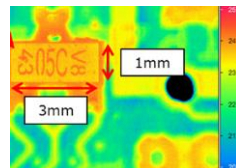
- ◆ 医療診断サポート
- ◆ 検疫所熱監視 (全国国際空港、港湾検疫所)



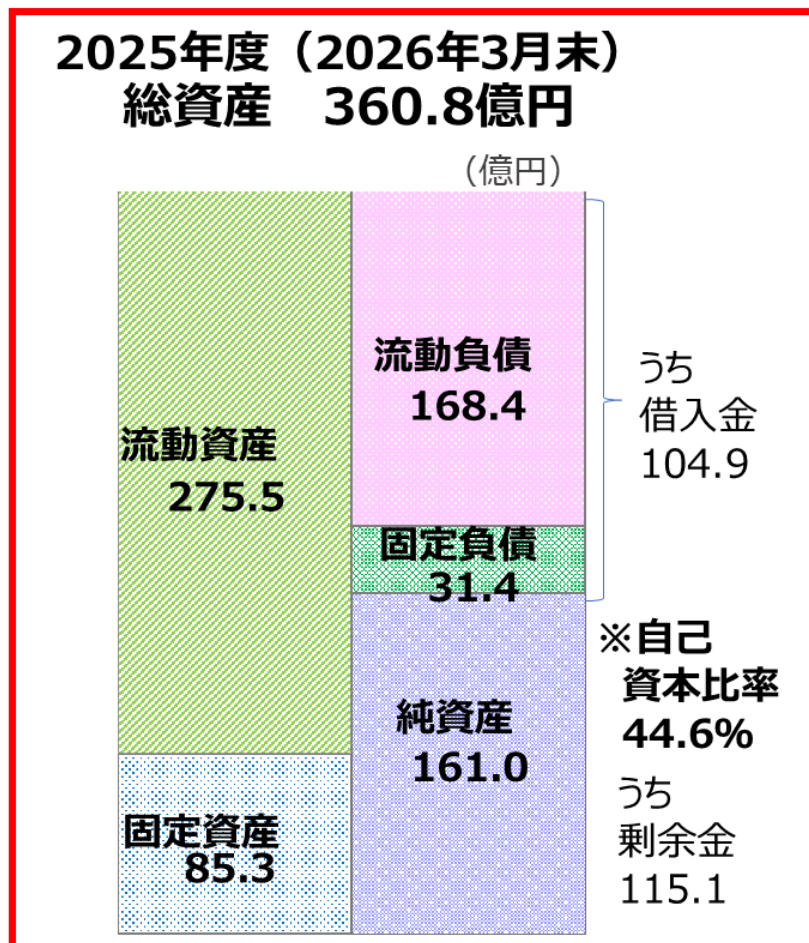
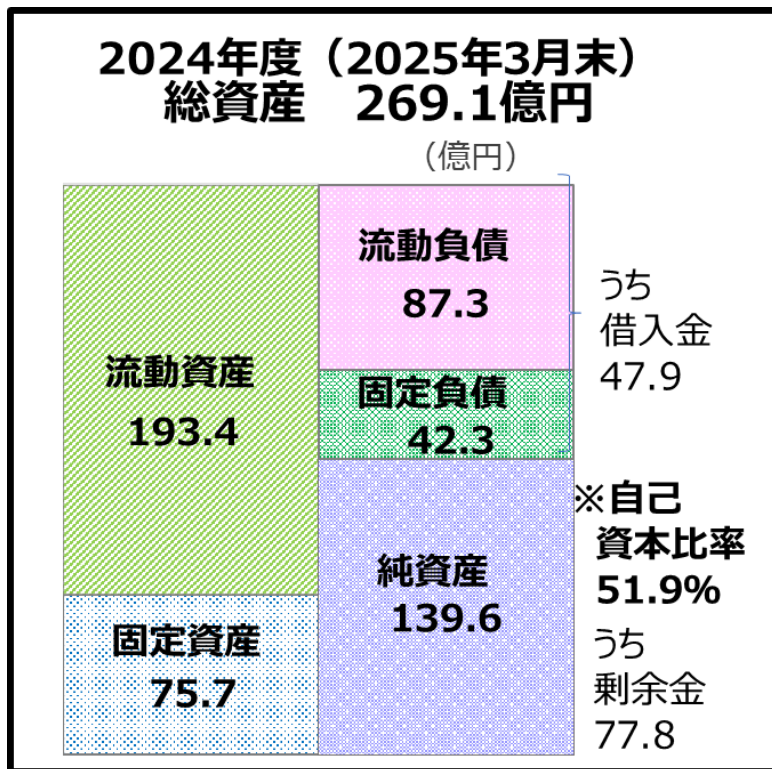
- ◆ 鋳造金型監視



- ◆ 電子部品故障解析



売上拡大に伴い総資産増加  
成長投資を継続しつつ、財務健全性を維持



## 日本アビオニクス経営理念

私たちの強みを磨き、さらに高めて、  
お客様のために新しい価値を創造し、  
安全・安心で豊かな社会を実現します

情報システム事業の強み

高信頼性技術

接合機器事業の強み

接合技術

赤外線センシング事業の強み

温度計測技術

## 経営方針

顧客価値経営を推進し、「筋肉質で強くて良い会社」を継続!!

**「筋肉質で」**

健全な体質

- ・無駄がなく効率的
- ・多少のことでは揺るがない
- ・ガバナンスが強固

**「強くて」**

競争力がある

- ・顧客価値の実現
- ・社会の変化や困難に対処
- ・QCDが優れている

**「良い」**

エンゲージメントが高い

- ・社員が主体的に取り組んでいる
- ・社会に貢献している
- ・企業価値が高い

営業利益率15%以上の継続

## 1株当たりの配当：2027年3月期は15円に増配する計画

### ■ 会社の利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項と認識しており、成長投資により持続的に会社を成長させ、企業価値向上に努めることを基本方針としております。配当につきましては、成長投資と業績等を総合的に勘案しながら継続して実施してまいります。

※参考：1株当たりの配当：2025年3月期は6円  
2026年3月期は10円に決議予定

## 環境の変化と中期経営計画の進捗を鑑み、 計画をペースアップして、ありたい姿を早期実現する

- 外部：
  - ・地政学リスク等により防衛予算の拡大/継続
  - ・車や電子機器の高機能化の促進、データセンターサーバーの伸張
  - ・事故や災害の未然防止への意識の高まり
- 内部： 競争力強化と経営基盤強化の進捗

### 中期経営計画のシナリオ

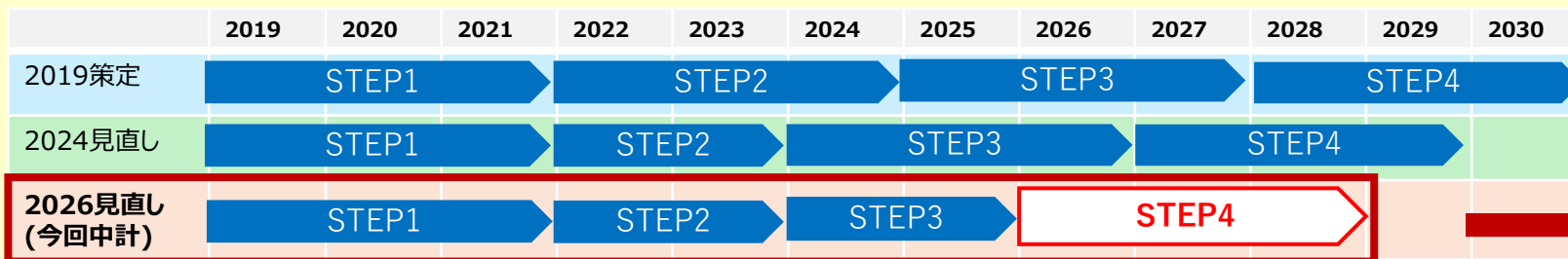
**STEP1  
変革期**  
 ・意識改革  
 ・プロセス改革

**STEP2  
安定期**  
 ・ものづくり力強化  
 ・ガバナンス強化

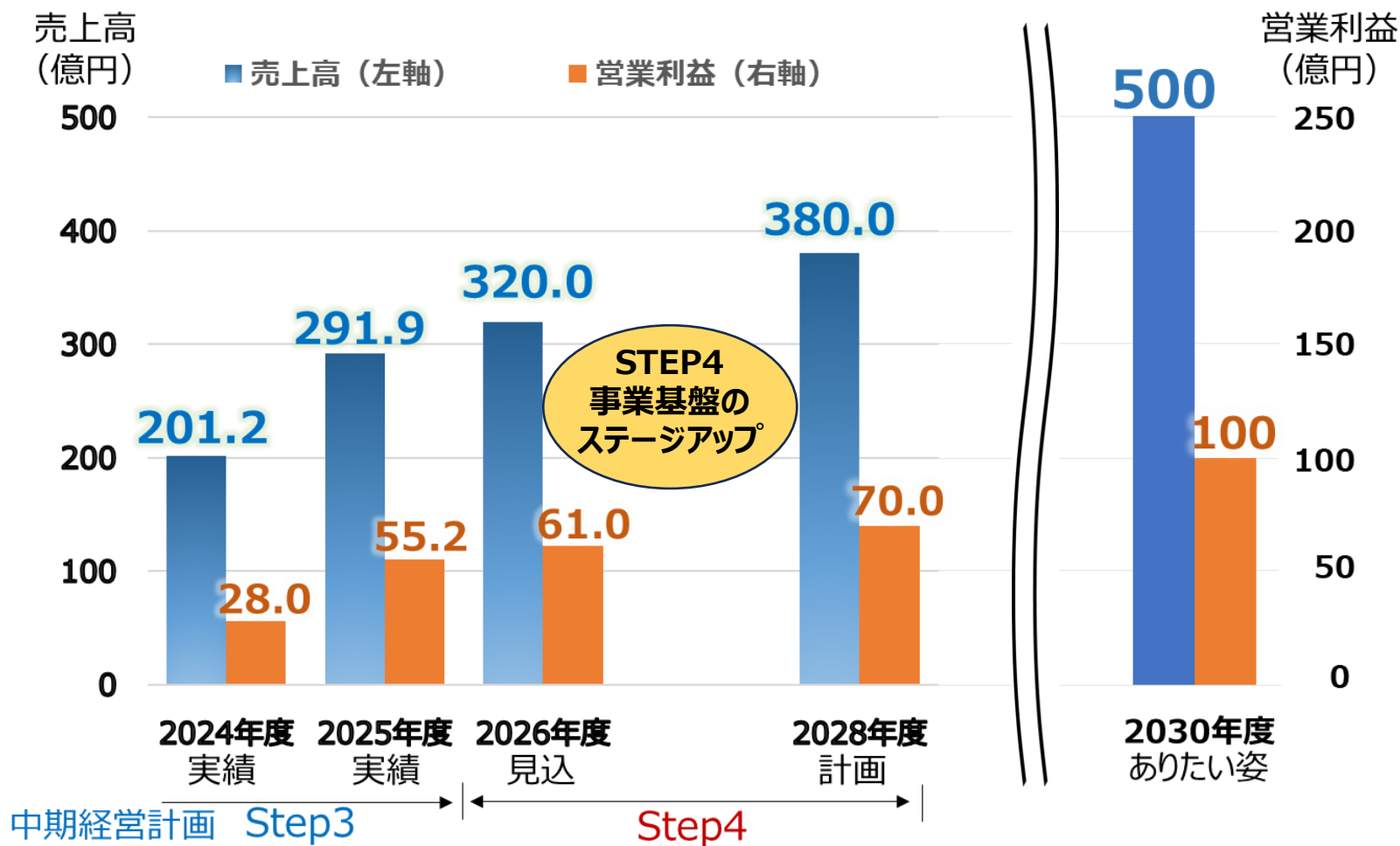
**STEP3  
成長期**  
 ・競争力の強化  
 ・経営基盤の強化

**STEP4  
事業基盤の  
ステージアップ**  
 ・さらなる競争力強化  
 ・さらなる経営基盤の強化

**2030年度  
ありたい姿  
の実現**



中期経営計画STEP4は事業基盤をステージアップする期間とし、2030年度に売上高500億円、営業利益100億円を達成する



STEP4は、設備と人的資本に成長投資を行うとともに、顧客価値提案力を向上し、**競争力強化**また、ガバナンス体制強化やITの高度化など、**経営基盤を強化**し、**ありたい姿を実現**する

## 生産力の増強

横浜事業所に新棟の建設を計画



※イメージ図

横浜事業所 新棟：2028年度稼働予定

## パフォーマンスの向上（人的資本強化）

- ・育成強化
- ・働きやすさ向上
- ・採用強化
- ・健康経営推進
- ・定着率上昇

## 顧客価値提案力の向上

- ・企画力、技術力、ものづくり力の3つのちからの強化、融合の継続
- ・海外戦略強化
- ・M&A、アライアンスの推進

## 経営基盤の強化

- ・ガバナンス体制強化
- ・ITの高度化

## 情報システム事業

防衛力強化の方針や予算増加を背景に拡大

## 接合機器事業

得意市場である情報機器市場の回復に加え、  
伸張しているデータセンター市場に注力して拡大

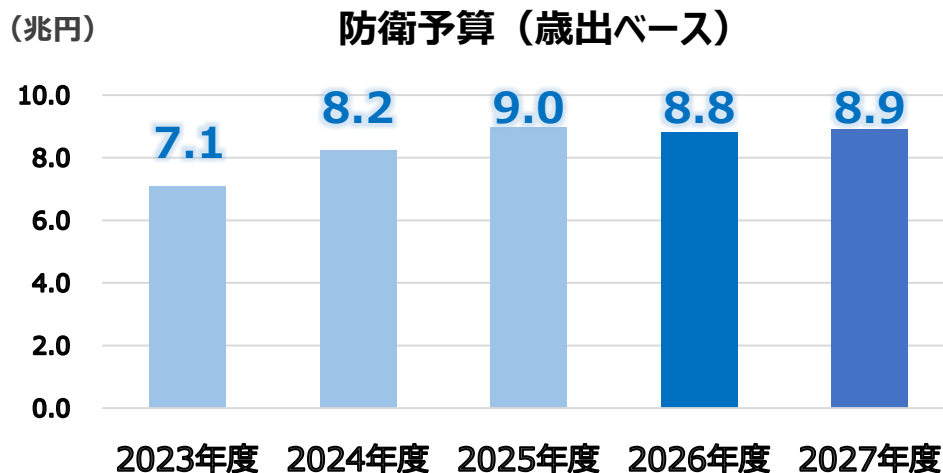
## 赤外線センシング事業

世の中の関心が高まりつつある予知保全に注力して拡大

## 市場環境

- ・2023年度から防衛予算が大幅に拡大し、  
将来の防衛装備品の開発、装備化に重点配分
- ・政府が防衛戦略三文書を1年前倒しで改定することを発表

政府方針：防衛力整備計画に基づき、整備計画期間内の防衛力抜本的強化実現に向け、4年目となる2026度においても、引き続き必要かつ十分な予算を確保し、スタンド・オフ防衛、統合防空ミサイル防衛、無人アセット防衛など、将来の防衛装備品の開発・装備化に重点配分



2023~2027 防衛力整備計画：43兆円程度

**防衛戦略三文書は1年前倒しの  
2026年12月に改定予定**

**当社事業計画の見直しも視野**

【参考】防衛戦略三文書（※）

文書名	時間軸
国家安全保障戦略	概ね10年程度
国家防衛戦略	概ね10年程度
防衛力整備計画	今後5年間（防衛費総額や主要装備の数量を明示）

※国の安全保障に関する戦略の策定文書

## 事業戦略

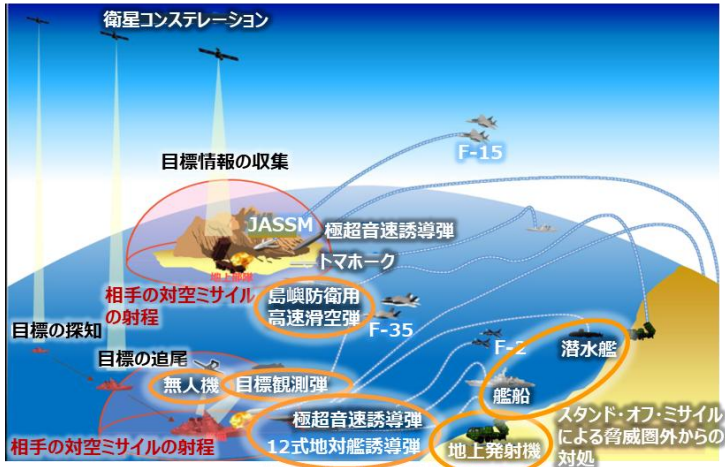
2023年度に公表された防衛力整備計画の主要7事業において、当社が強みを活かせるターゲット分野を定め、既存領域でより高付加価値な製品を提供することに加え、新規領域にも展開して事業を拡大

### ■ 防衛省が掲げる防衛力強化の主要7事業と当社のターゲット分野

防衛主要事業	当社のターゲット分野
1. スタンド・オフ防衛	能力向上型対艦誘導弾 高速滑空弾 極超音速誘導弾 などに関連した制御装置、管制システム
2. 統合防空ミサイル防衛	JADGEシステム 各種レーダーシステム
3. 無人アセット防衛	UAV（無人航空機）、USV（無人水上機）、UUV（無人水中機）、 UGV（無人車両）、関連システム
4. 領域横断作戦	宇宙・サイバー・電磁波領域（衛星通信、電子戦、車両搭載型レーダー装置等） 陸海空領域（新型FFM、戦闘車等）
5. 指揮統制・情報関連機能	情報収集・分析用器材
6. 機動展開能力	輸送機、ヘリ、船舶、車両
7. 持続性・強靱性	誘導弾、魚雷に関連した制御装置、管制システム

## ターゲット領域（例）

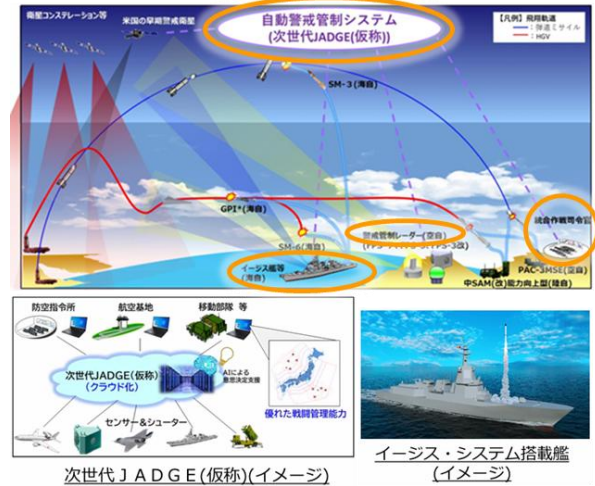
### 1. スタンド・オフ防衛



### 3. 無人アセット防衛



### 2. 統合防空ミサイル防衛



### 4. 領域横断作戦



出典：「防衛力抜本的強化の進捗と予算令和8年度予算案の概要」（防衛省）のイメージ図を加工して当社作成

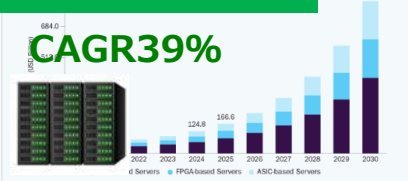
## 事業戦略 成長市場で伸張するアプリケーションに顧客価値を提供して事業拡大

### 市場

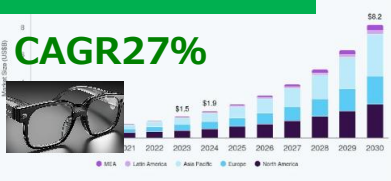
CAGR：2025年→2030年

出典：GRAND VIEW RESEARCH

#### データセンター市場



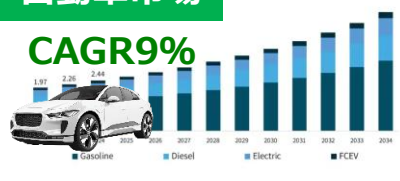
#### スマートグラス市場



#### 人型ロボット市場



#### 自動車市場



### ターゲットアプリケーション

CAGR：2025年→2030年当社予測

#### 新規 全固体電池

**新規**

**全固体電池**

アプリ

- ・全固体電池

成長市場

- ・スマートグラス
- ・ウェアラブル
- ・産業ロボット

CAGR 20~30%

#### 既存 水晶デバイス

**既存**

**水晶デバイス**

アプリ

- ・水晶デバイス

成長市場

- ・データセンター
- ・自動車
- ・スマートグラス/フォン
- ・人型ロボット

CAGR 10~15%

#### 新規 半導体

**新規**

**半導体**

アプリ

- ・パワー半導体
- ・レーザダイオード
- ・光融合デバイス

成長市場

- ・データセンター
- ・自動車
- ・スマートグラス

CAGR 10~15%

#### 新規 高速伝送ケーブル

**新規**

**高速伝送ケーブル**

アプリ

- ・サーバケーブル
- ・同軸ケーブル

成長市場

- ・データセンター
- ・人型ロボット

CAGR 10~15%

#### 既存 モータ

**既存**

**モータ**

アプリ

- ・電動水冷ポンプ
- ・小型モータ
- ・eアクスル

成長市場

- ・データセンター
- ・自動車
- ・人型ロボット

CAGR 10~15%

#### 既存 コイル・カメラモジュール

**既存**

**コイル・カメラモジュール**

アプリ

- ・チップコイル
- ・カメラモジュール
- ・低誘電FPC

成長市場

- ・スマートグラス
- ・ウェアラブル
- ・人型ロボット

CAGR 5~10%

#### 既存 ドアトリム

**既存**

**ドアトリム**

アプリ

- ・ドアトリム
- ・他内外装

成長市場

- ・自動車

CAGR 5~10%

## デバイス気密封止

### 市場環境

- ・データサーバー向けに水晶デバイスや光トランシーバーの需要増加
- ・次世代の電池として全固体電池の需要増加
- ・水晶デバイスは小型化、低背化の需要増加

## シーム溶接機（パッケージ封止）



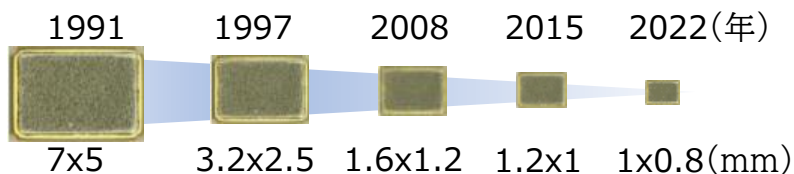
### 電子部品の性能向上、品質安定化

気密封止により吸湿を防止

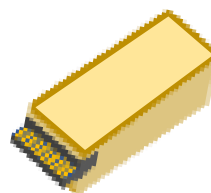
真空封止により空気抵抗を遮断

局所過熱により熱ダメージを軽減

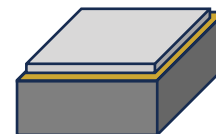
### 水晶デバイス



### 光トランシーバー



### 全固体電池





## Seem Sealing シーム溶接機のご紹介



動画は以下リンクでロングバージョンをご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=dDzIm0tqcfA>

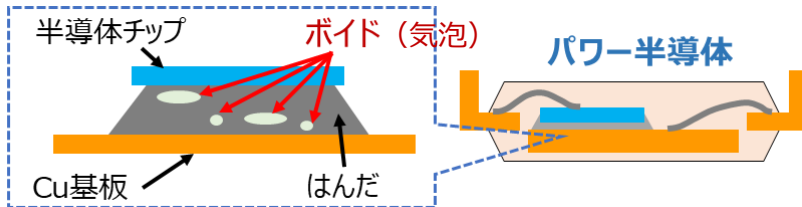
## 超音波リフロー装置

### 市場環境

パワー半導体はデータサーバー、自動車で需要増加

### パワー半導体製造における課題

半導体チップと基板のはんだ付け工程において、電気特性が悪化する要因となる**ボイド（気泡）**が発生  
（放熱を阻害、電流損失増加）



#### ボイドを無くす現状対策

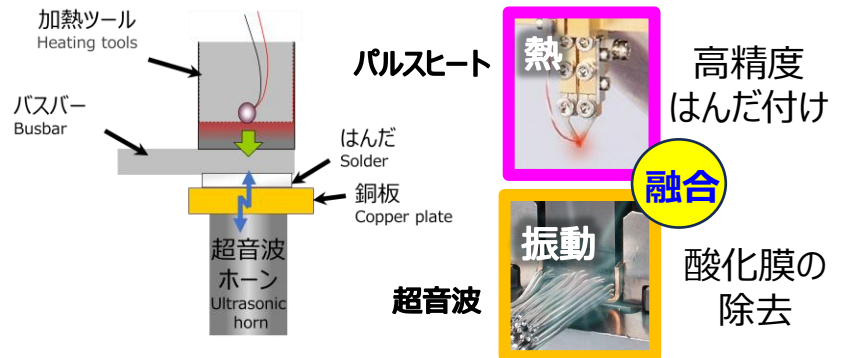
- ・真空環境ではんだ付けを行う
- ・特殊な薬品を使用してはんだ付けを行う

#### 現状対策の課題

- ・真空引きの大掛かりな装置が必要
- ・人体への影響を含めた薬品管理が必要

### 解決策：超音波リフロー装置

- ・大気中でボイドの無いはんだ付けを実現  
真空引きの設備/時間が不要
- ・薬品不要で安全管理の工数を削減



ボイドを抑制することで

- ①電気特性向上
- ②長寿命

ボイドレス



## 事業戦略

- ・設備保全や災害の未然防止に貢献するソリューションを提供して事業拡大
- ・電子部品の故障解析や医療診断サポートで拡販

CAGR：当社予測

### 予知保全市場

2025-2034 CAGR28.5%

スマート保安（AI、IoTなどのデジタル技術を活用した産業保安の高度化）市場は、人手不足や設備老朽化といった構造課題を背景に、日本国内で急速に拡大。2025年以降のスマート保安推進により、防爆装置や設備監視など、成長が見込まれる。

### 電子部品市場

2025-2034 CAGR12%

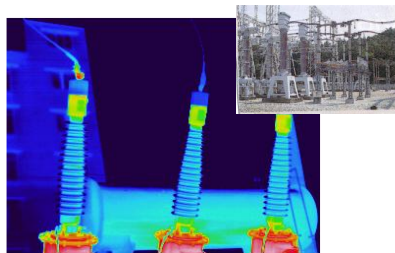
電子部品市場は、2026年以降も車載電子機器、AIサーバー、5G通信向け需要で高性能部品需要の増加が見込まれる。

### ヘルスケア市場

2025-2034 CAGR8%

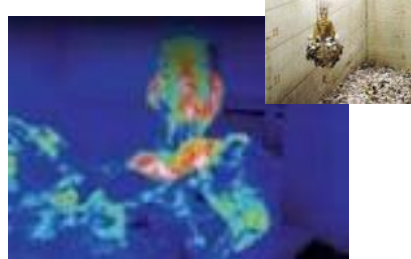
日本のヘルスケア市場は、健康寿命延伸に向けた健康増進や予防意識の高まりにより拡大が見込まれる。

### 電力設備監視



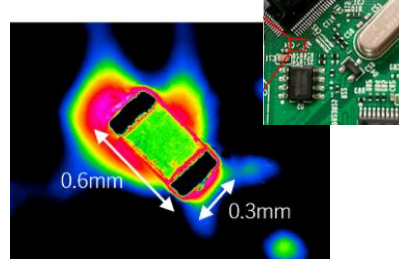
サーモグラフィを常設し、遠隔で予兆監視して保全の省人化を実現するとともに災害の未然防止や早期発見で安全操業に貢献

### ごみ処理場監視



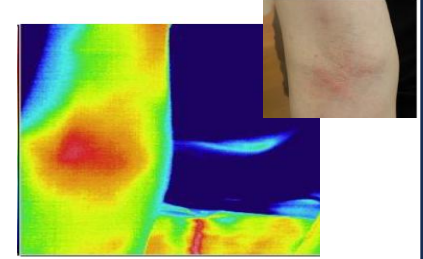
サーモグラフィを常設し、予兆監視して火災を未然に防止し、焼失による操業停止や膨大な復旧コストの回避に貢献

### 故障解析



超高速サーモグラフィで、小型・高機能化が進む電子部品の微量で瞬時的な欠陥を早期検出し、故障解析の効率化に貢献

### 診断サポート



※画像：倉敷皮ふ科医院ご提供

医療機器認定を取得したサーモグラフィで、症状や治療効果を可視化し、診断をサポート

## 市場環境

ごみピット、燃料ヤード、老朽化した配電盤などで火災が発生  
発火リスクに対し、予兆検知を活用した未然防止対策が一層推進

## サーモグラフィによる予知保全

### 火災感知器

煙式・・・煙を感知 炎式・・・炎を感知  
熱式・・・感知器の温度、空気膨張を感知

### 赤外線サーモグラフィ

画角内の温度上昇を感知

- ・発煙、発火前の予兆を捉える
- ・離れた場所の温度を取得
- ・発熱位置情報を取得（煙中でも）

予知保全ができる ▶ 未然防止  
初動が早まる ▶ 被害拡大抑制

サーモグラフィカメラ  
N50シリーズ



### サーモカメラメーカー 独自の顧客価値

- ・非対象物自動マスキング
- ・防爆仕様 等



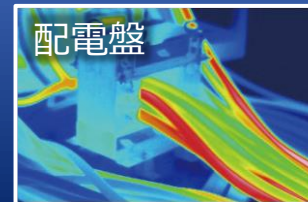
ごみピット



燃料ヤード



変電所



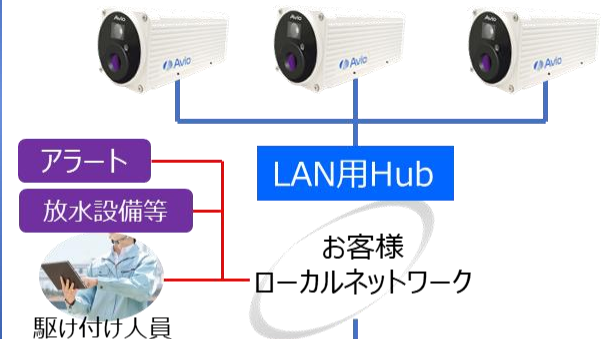
配電盤

## 運用

LANケーブルを接続

遠隔でリアルタイムな状況把握

消火設備等の他の機器と連動



遠隔監視、遠隔操作、データ取得



集中監視室



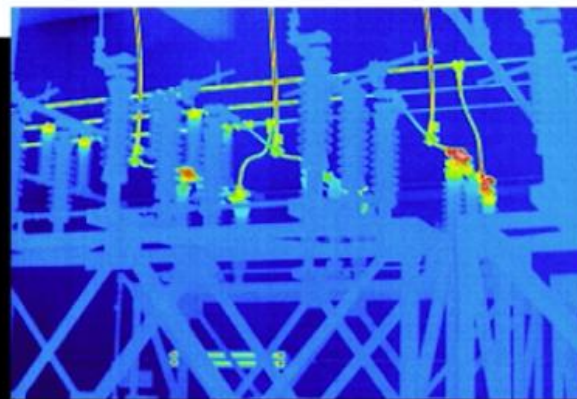
作業員  
(移動中)



事務所・デスク

Avioのスマート保安

# 点検レベルの向上と 設備保全の省力化



動画は以下リンクでロングバージョンをご覧ください

<https://youtu.be/d84qvmzB0X8>

## 市場環境

- ・高齢化が進み、ヘルスケアへの関心が高まる
- ・医療現場で人手不足が進む



## 医用サーモグラフィによる新市場創造

国内唯一の医療機器認定サーモグラフィ

訪問診療やベッドサイド診療に対応

一般診療所やクリニックで手軽に導入



## 運用

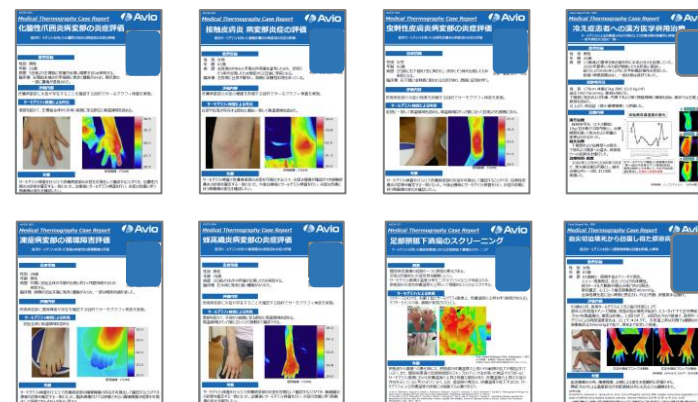
ポータブルで簡単操作

診断レポート自動作成

患者単位でのデータ管理

非接触・非侵襲で患者の負荷少

## 大学、医師の先生方によるケースレポートを展開中





# 報告事項 2

計算書類の内容

計算書類の内容報告につきましては  
招集ご通知21頁から22頁に  
記載の通りであります



以上をもちまして  
報告事項のご説明を  
終わらせていただきます



# 決議事項

## 第 1 号議案

剰余金処分の件

## 第 2 号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）

4 名選任の件

## 第 3 号議案

監査等委員である取締役 3 名選任の件

## 配当の内容

定款第29条の規定に基づき、下記のとおり期末配当を行います。

区分	内容
配当財産の種類	金銭
配当財産の割当てに関する事項及びその総額	当社普通株式 1株につき10円 配当総額 147,888,130円
剰余金の配当が効力を生じる日	2026年6月22日

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）  
4名選任の件



取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者

再任 竹 内 正 人

再任 山 後 宏 幸

再任 加 藤 精 彦 社外

再任 森 誠 一 社外

## 監査等委員である取締役 候補者

再任 海 野 忍 社外

再任 青 山 薫 社外

再任 近 藤 将 士

ご質問のある方は挙手をお願いします

議長がご指名申しあげましたら  
係りの者がマイクをお席までお持ちいたします  
入場票の番号と

お名前をおっしゃってから  
要点を簡潔にご発言願います

1回につき1問でお願いします

ご質問が終了しましたら、ご着席いただき  
回答をお聞きください

## 配当の内容

定款第29条の規定に基づき、下記のとおり期末配当を行います。

区分	内容
配当財産の種類	金銭
配当財産の割当てに関する事項及びその総額	当社普通株式 1株につき10円 配当総額 147,888,130円
剰余金の配当が効力を生じる日	2026年6月22日

## 取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者

再任 竹内正人

再任 山後宏幸

再任 加藤精彦 社外

再任 森誠一 社外

## 監査等委員である取締役 候補者

再任 海 野 忍 社外

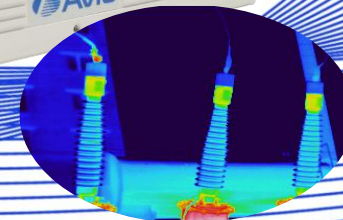
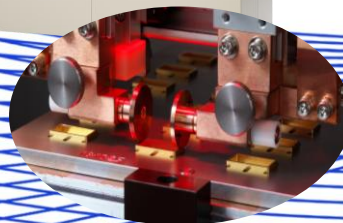
再任 青 山 薫 社外

再任 近 藤 将 士

# 日本アビオニクス株式会社



## 第76期定時株主総会 (閉会)



2026年6月19日



本日はご出席賜り

また議事進行に格別のご協力をいただき

誠にありがとうございました

出口側の株主様からご退場願います



**Avio**

---

私たちの強みを磨き、さらに高めて、  
お客様のために新しい価値を創造し、  
安全・安心で豊かな社会を実現します

---